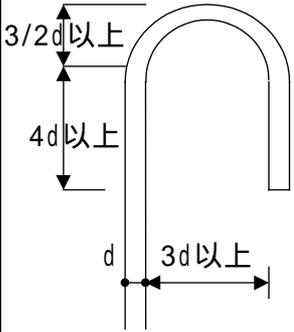


・区分	31700	ハード部門（共通）
タイトル	差し筋先端部の丸フック加工	
動機・改善前の状況	基礎、地中梁からの差し筋は、フック無しで施工していたために、つまずきによる転倒等の軽傷の怪我や、墜落・落下下場合には差し筋が突き刺さるなどの重大事故につながる可能性があった。	
改善・実施事項	以前は、差し筋を切断加工の生材のままで差し筋としていた。現在は1階壁筋と土間の差し筋については、全て先端を丸フック加工されたものを差し筋としている。	
改善効果	高さ900mmのところから足を滑らして落下した事故で、差し筋の上部に落ちたが胸部打撲ですんだ。	
活動内容 改善事項の図、 写真	<p>差し筋：曲げていない</p> <p>以前は差し筋を切断加工の生材のままで差し筋としていた</p>   <p>差し筋：曲げている (鉄筋径D16以上)</p> <p>以前は差し筋を切断加工の生材のままで差し筋としていた</p>  	
事例提供先	馬淵建設(株)	